

あゆむ

平成 29 年度認知症の人とあゆむ会事業所見学会

認知症の人とあゆむ会事業所見学会が9月28日(木)にジャパンケア平田地区サポートセンター、グループホームさくら、ハピネスさくらにて17名が参加し開催されました。

ジャパンケア平田地区サポートセンターは、仮設住宅に住む方の見守りや相談業務機関として、平成23年8月に開設されました。仮設住宅の玄関が向かい合い、それがウッドデッキで繋がり、近所付き合いしやすい作りになっていました。また、テレビ電話が設置された世帯では、24時間相談できる体制、その方に合った時間帯に見守る巡視活動、施設内の診療所にて仮設にしながら医師に診察して頂けるなどの取り組みをご紹介して頂きました。このような見守り活動を通して仮設住民の変化にも気づきやすく、中には認知症の方の早期発見に繋がったケースもあったそうです。

その後、同センターが市内の一部地域に500円で配達しているお弁当で昼食休憩をはさんでから

洞泉にあるグループホームさくらに移動しました。施設の窓からは、稲刈りの風景やJR釜石線走る汽車など、のどかな田園風景が見られました。施設では、地域の方々との交流を大事にしており、利用者と職員と地域の方々が共に様々な行事に取り組むなど家庭的な雰囲気の中で、心地よく過ごされている様子を見学することができました。

最後に、松倉にある有料老人ホームハピネスさくらとデイサービスさくらを見学しました。職員が演奏する三味線に合わせて民謡を歌う利用者の楽しそうな笑顔を見ることができました。参加者からは「こういう施設なら安心して家族をお願いできそう・・・。」との感想が聞かれました。当日は残念ながら雨模様でしたが、各施設の特性を知ることができ、有意義な見学会となりました。



ミニ講座

認知症高齢者の入浴

1. 高齢者の入浴

若い人のように毎日入浴する必要のない場合もありますが、拒否があって入浴しない日が続くと、皮膚炎や感染症になる恐れがあります。そのため定期的に入浴できるとよいでしょう。

2. 認知症高齢者の入浴の配慮

体調の確認、転倒等の安全確認、ヒートショックに注意しましょう。また、洗身の一部などご自分でできるところはやってもらうとよいでしょう。

3. 入浴を拒否する理由

入浴を拒否する理由として、服を脱ぐのが不安、服を盗まれるのではないかと心配、入浴そのものが億劫、入浴の動作が理解できないなどがあげられます。また、レビー小体型の認知症などの場合、浴室で幻視が見え、入りたがらない場合があります。

4. 対応方法

手を変え品を変え勧めてみる。それでもだめならあっさり引き下がり、しばらくしてまた誘うなどして対応してみましょう。初めは足浴から始めたり、入浴の介護サービスを利用するほか、入浴し易い環境を整えたり、楽しい入浴にするなど配慮してみましょう。幻視が見えるときは、その原因となる模様や場所を隠したり、浴室を明るくするなど、できる限り対応してみましょう。

★シリーズ★ 認知症最新ニュース

「スパイスで認知症予防」

認知症の中で最も患者数の多いアルツハイマー型認知症は、脳内に異常たんぱく質の凝集体が生成することから始まり、次いで脳神経細胞の壊死が進行し症状が発症すると言われています。

そのアルツハイマー型認知症に対して予防効果のあるスパイスが発見されました。異常たんぱく質の活性を抑える効果が期待できるスパイスとして、ウコンとゴマが注目されています。マウス実験において異常たんぱく質の抑制効果が確認されました。毎日の食事にウコンやゴマを取り入れることによって、認知症予防が期待できるかもしれません。

活 動 予 定

- ★ つどい定例会 (対象：正会員・一般介護者)
日時：10月18日(水) 13:30~15:00
会場：小佐野コミュニティ3階
- ★ あゆむカフェ (対象：正会員)
日時：11月23日(水) 13:30~15:00
会場：小佐野コミュニティ1階談話室
- ★ 認知症介護講演会 (対象：どなたでも)
日時：12月2日(土) 13:00~14:45
会場：小佐野コミュニティ3階